

JOCジュニアオリンピックカップ
第43回全日本ジュニアバドミントン選手権大会山形県予選大会

<競技上の注意>

1. 本大会は、令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。
2. 試合のコートは、タイムテーブルにより、原則としてジュニア新人の部男子単(1~4コート)、ジュニア新人の部女子単(9~12コート)、ジュニアの部複単(5~8コート)とし、それぞれ流し込みで行います。ただし、進行状況により試合順及びコートを変更する場合がありますので、場内放送に注意してください。
3. 選手は、予定試合の試合の1回転前の最初の試合がコールされたら、選手招集所に集合してください。
(例：5回転目の試合の選手は、4回転目の最初の試合がコールされたら、集合してください。)
4. 試合が連続する場合のインターバルは10分間とします。
5. 試合の得点は、全て15点3ゲームマッチとします。
6. シャトルは、1種検定合格球とし、持ち寄りとします。ただし、準決勝からは主催者で準備します。
7. 着衣は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とします。また、上位の背面には、申込時の所属名(学校名または団体名(小学生は団体名、県中体連に認められた地域クラブ名))を明示してください。背面布を使用する場合は、上衣に4点で留めてください。
8. コート及び競技区域内において、選手、監督及びコーチ等のスマートフォン等の電子通信機器の使用を禁止します。
9. コートサイドには、カゴやドリンクケースを設置しません。給水のためのボトル(ふたつき)、タオル、着替え用ウェア、氷のう等は、すべてラケットバック等に入れ、コートサイドの主審側に置いてください。チェンジエンスの際はそのまま持って移動してください。
10. コーチ席は、両コートサイドに2席用意します。コーチ席に座ることができるのは、登録した監督またはコーチとします。ただし、同時に、同一校の複数の選手が競技する場合は、監督またはコーチ以外の指導者も認めます。着席する者の服装は、公認審判員規定第5条第12項(8)に則り、マッチにふさわしい服装とし、上衣はユニフォーム、襟付きシャツ、ポロシャツまたはブラウス、下衣は長ズボン(七分丈、短パンは不可)またはスカートとしてください。また、スリッパ、サンダルは禁止とします。
11. 空きコートでの練習は禁止します。
12. 選手はコールされたら速やかにコートに入ってください。コールされてから5分経過しても入らない場合は、レフェリー判断で失格とする場合もあります。
13. マッチ中の怪我や病気による中断は、原則としてレフェリーが判断し、相手選手への中断時間を主審に告げます。ただし、鼻血等の出血・嘔吐をした場合は、直ちに中断し、レフェリーの判断により医務役員が対応します。なお、当該選手(又は監督)からの棄権申告については、主審が受理します。

<審判上の注意>

1. 各試合のラインジャッジは、試合時に当該選手の各所属校(所属団体)等から1名ずつ出してください。
2. 本大会は、敗者審判制とします。試合後、敗者は主審から審判用紙を受け取った後、本部に提出し、次の試合の審判用紙を受け取ってください。同じコートの次の試合の、複は主審と得点係、単は主審をお願いします。(選手が主審をできない場合は、選手に代わって監督、コーチ等が行ってください。)オーバールールは公認審判員が主審の際に適用します。なお、準決勝から公認審判員が主審を行います。
3. サービスジャッジは配置しません。なお、主審の目安となるよう、ポールの床面から115cmのところに目印を貼り付けます。

<その他>

1. 棄権の申し出は、申込責任者から県バドミントン協会競技委員長あてにメールで連絡をお願いします。ただし、参加料は試合当日に何らかの方法で納入願います。
2. 試合結果の速報は、X(旧Twitter)「山形県バドミントン協会競技委員会」で行う予定です。
3. 競技開始前の練習について、実施要項では各試合前3分間としていましたが、例年より試合数が多ためタイムテーブルに記載の通り試合前の一斉練習に変更し、各試合前の練習はなしとします。
4. 代表者会議、開会式、閉会式は行いません。表彰は、各種別終了後に実施します。
5. 準備、後片づけは、選手・応援の皆さんからのご協力をお願いします。